

授業科目	*実践英語音声学Ⅱ				単位	2		
履 修	必修	関連資格	中一種免(英語) 高一種免(英語) 日本語教員		ナンバリング	EN11102J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-2			
担当教員	太田 かおり							
授業概要	実践英語音声学Ⅱでは、前期で学んだ英語の母音・子音やリズム・イントネーションなどに関わる英語音声の法則を復習し、正確な発音方法を再確認することによってさらに理解を深める。母音や子音の正しい発音のみならず、聞き取る力も同時に強化する。また、より実践的な英語音声学の活用を目指し、英語の音変化(連結、脱落、同化)やリダクションについても深く学ぶ。英会話表現や洋楽の歌詞などを通じて、英語特有のリズムや音声的特徴の体得を目指す。							
学生が達成すべき行動目標	①英語の子音の調音点や調音方法を理解し、日本語の子音との違いを説明できるようになる。 ②英語の母音の発音方法を理解し、日本語の母音との音色の違いを説明できるようになる。 ③英語の子音と母音を練習し、より正しく聞き取ったり、発音できるようになる。 ④国際音声表記(IPA)を使って表記したり、IPA表記を読むことができるようになる。 ⑤英語と日本語のリズムの違いを理解し、英語の音変化の特徴を活用できるようになる。 ⑥英語の音変化を練習し、より正しく聞き取ったり、発音できるようになる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	20	40	0	10	30	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)		20	40		10	30	100	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
①英語の子音の調音点や調音方法について理解し、他者にわかりやすく説明できる。 ②英語の母音や子音を自らが正確に発音できる。 ③国際音声表記(IPA)を使って表記したり、IPAで書かれた表記を迷いなく読むことができる。 ④英語特有のリズムや音声的特徴について理解し、他者にわかりやすく説明できる。 ⑤英語の発音やリズムの特徴を十分に理解し、日常英語で自然に活用することができる。				①英語の子音の調音点や調音方法について理解し、概ね説明できる。 ②英語の母音や子音を概ね正しく発音できる。 ③国際音声表記(IPA)を使って書かれた表記を概ね読むことができる。 ④英語特有のリズムや音声的特徴について理解し、概ね活用できる。 ⑤英語音の聞き取りや発音のコツを理解し、日常英語で概ね活用できる。				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	授業ガイダンス 授業の進め方や評価方法、家庭学習の方法等について説明を行う。 英語の母音・子音・リズムの復習	講義・説明	本時の復習 テキスト p.1-27 の復習	100
2	Lesson1 音節と語強勢／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.32-33 の予習	100
3	Lesson2 文強勢／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.34-35 の予習	100
4	Lesson3 ポーズ／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.36-37 の予習	100
5	Lesson5 音のつながりⅠ 連結／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.40-45 の予習	100
6	Lesson6 音のつながりⅡ 脱落(1)／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.46-47 の予習	100
7	Lesson7 音のつながりⅢ 脱落(2)／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.48-49 の予習	100
8	Lesson8 音のつながりⅣ 同化(1)／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.50-51 の予習	100
9	Lesson9 イントネーション—列挙と選択問題文／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.52-53 の予習	100
10	Lesson10 機能語の弱形と強形／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.54-59 の予習	100
11	Lesson11 音のつながりⅤ 同化(2)／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.60-61 の予習	100
12	Lesson12 音のつながりⅥ 同化(無声化)／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.62-63 の予習	100
13	Lesson15 話者の意図と強勢／発音練習	講義・演習	前時の復習 テキスト p.68-69 の予習	100
14	総括(1) 母音・子音の総括 ※レポート課題提出	講義・演習	テキスト p.4-27 の復習	100
15	総括(2) 強勢・リズム・話者の意図の総括	講義・演習	テキスト p.32-69 の復習	100
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1. 日本語や英語の音声の違いに関する興味・関心 2. 英語の母音・子音に関する基本的な知識 3. 英語の発音記号に関する基本的な知識 4. 英語のアクセント・リズム・イントネーションに関する基本的な知識			
テキスト	今井由美子／井上球美子 他共著（2020年）『英語音声学への扉—発音とリスニングを中心に—』【改訂版】Sounds Make Perfect DVD付（ISBN: 978-4-269-63014-7）2,640円 ※前期使用教材を継続使用するため、購入の必要はない。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	英語耳をつくるためには、いろいろな英語の音声に慣れる必要があります。そのためには、テレビ・ラジオ・インターネット・映画などを有効に活用して下さい。また、問題を解くという意識を捨て、可能な限り英語を聞き、使ってみる努力をしましょう。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	[達成度評価に関するコメント] ①レポート課題(40%)…期末課題レポート ②小テスト(20%)…小テストや授業課題への取り組み ③レポート以外の提出物(20%)…授業毎に記入の振り返りシート ④その他(20%)…授業中の音声レッスンや授業への積極的な参加態度 ※上記①～④を総合的に評価する。 [課題に対するフィードバック方法] 毎回の授業終了後に学生は振り返りシートを提出し、質問事項等がある場合については次回以降の授業にて全体または個別にフィードバックを行う。小テストについては、チェック後に後日フィードバックを行う。			

